

情報公開資料

別紙4

平成 29 年度
学校関係者評価委員会
報告書

平成 29 年 8 月

学校法人 タイケン科学学園
日本ウェルネス保育専門学校

目 次

P. 3 1. 学校関係者評価委員会の目的

P. 3 2. 学校関係者評価委員会の所管事項

P. 3 3. 平成 29 年度 学校関係者評価委員会開催概要

P. 4 4. 議 題

- (1) 平成 28 年度自己評価報告書に対する、委員からの評価及び意見、その改善方策
- (2) こども保育学科の学科内容再編について
- (3) 医療情報管理学科の授業の進め方について

1. 学校関係者評価委員会の目的

日本ウェルネス保育専門学校が、関係者の理解と協力を得ながら学校運営を進めていくために、学校の基礎的情報の把握・分析を行ない、学校関係者(関係業界、所轄庁、学生、保護者、地域社会等)との信頼関係を強めることを目的に設置する

(日本ウェルネス保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第1条より抜粋)

2. 学校関係者評価委員会の所管事項

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1)学校の教育目標・人材育成の目標及び教育指導計画、経営方針
- (2)教職員の組織、教員の専門性
- (3)学生支援・キャリア教育の実践的職業教育
- (4)財務情報の公開・法令等の遵守
- (5)その他、自己評価・学校関係者評価を踏まえた改善方策

(日本ウェルネス保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第2条より)

3. 平成 29 年度 学校関係者評価委員会 開催概要

- (1). 日 時 平成 29 年 8 月 30 日 10 時 00 分～12 時 00 分
- (2). 場 所 東京都千代田区神田神保町1-52-4
日本ウェルネス保育専門学校 会議室
- (3). 出席者 委 員 長 下野 隆征
 委 員 畠山 拓也
 委 員 渡邊 雄一
 職 員 柴岡 信一郎
 職 員 山口 智之
- (4). 議 題 1 平成 28 年度自己評価報告書の概要について
 2 こども保育学科の学科内容再編について
 3 医療情報管理学科の授業の進め方について

4. 議 題

(1) 平成28年度自己評価報告書に対する、委員からの評価及び意見、その改善方策

ア. 教育理念・目標

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・自己評価報告書(中間報告)「平成 21 年度のこども保育学科開設以降、男女共同参画社会で活躍する保育者、医療従事者の養成という将来構想のもとに、学校づくりを進めている。」について、学生や保護者等に対する、男女共同参画社会で活躍する保育者、医療従事者の養成という将来構想の周知が不足しているのではないか。</p>	<p>・学校の将来構想をホームページや『学生ガイドブック』に掲載した結果、学生や保護者への周知は、だいぶ出来ているように感じる。</p>

イ. 学校運営

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・教育活動に関する情報公開は実施しているが、学生や保護者へのアンケート(教育活動全般、授業について等)結果を外部に公開できていないのではないか。</p> <p>・校務分掌一覧等により運営組織を明確にしているが、規則等による明文化にいたっていないのではないか。</p>	<p>・平成 28 年度の報告で取り上げたとおり、7 月実施したアンケート結果を現在、ホームページに公開している。</p> <p>・学校運営の方向性は、今後も幹部会議で上長に伝え、各校務分掌レベルで実施していくこととする。</p>

ウ. 教育活動

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・授業評価において、実習の点検をする設問が不足しているのではないか。</p>	<p>・7 月の学生へのアンケートでは、前期の授業評価を分析し、実習の点検を意図した設問になるよう工夫して、実施した。</p>

エ. 学修成果

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・退学率は昨年度に比べて年々減っているが、さらなる低減に向けて、方策を考える必要があると考えるが、具体的にどのようなことを実施・検討しているのか。</p>	<p>・退学率がさらに低減するよう、平成 28 年度に続き、担任を中心に家庭環境や出身高校での生活など学生把握を強化し、また、担任と学生相談室のスクールカウンセラーとの情報共有の機会を増やしていく意識を強くした結果、担任とスクールカウンセラーとの連携が、かなり組織的に強くなってきている。また、AO 入試の入学者に関しては、定期的な入学前学習の実施により、早期入学決定がマイナスにならないよう、逆に安心感を持ってもらえるような体制づくりも出来てきている。今後も常に退学率の低減を考え、学生との距離の保ち方を様々な方策で講じていく。</p>

オ. 学生支援

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・卒業生の増加に伴い、現在のように卒業生が個別に教職員に相談する状況から、ホームカミングデーの実施等、卒業生同士で交流を図れる体制を準備する必要があるのではないかと。</p>	<p>・平成 28 年度に続き、卒業生同士が交流できる場として、どのような手段が取れるかを検討した。今回は、教職員の持つネットワークを活用し、卒業生へのヒアリングを意識したイベントにした結果、卒業生と在校生との交流も積極的に行われ、今まで以上に有意義な交流会になった。今後も内容をその都度検討しながら、卒業生の力を借りて、継続的に実施していく。</p>

カ. 教育環境

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・学生数に応じた図書を用意しているが、保育実習や幼稚園実習へ参加する学生数の増加から参考図書のラインナップが不十分であるため、更なる充実が必要になってくるものと考え</p>	<p>・平成 28 年度に引き続き、各学科長と法人本部が連携し、図書購入に関する学生の要望を取り入れる体制を検討する。教育環境に関しては、図書委員会、学生指導委員会、防火管理委員会、総務委員会の教員を中心に、相談し改善策を立てていく。</p>

キ. 学生の受入れ募集

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・AO入試、指定校推進、部活動推薦など、入学相談担当以外の職員の一部が各試験の特徴を正確に説明できるレベルに達していないと考えるが如何。</p>	<p>・定例の職員会議や広報会議での情報共有に加えて、勉強会を実施する一方、全教職員が学校に関するすべての事項についてしっかり説明できるよう、説明ファイルを用意し、対応にあたっていく。</p>

ク. 財務

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・特になし。</p>	

ケ. 法令等の遵守

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・学生に教育活動全般、授業に関するアンケートを実施し、自己評価への活用及び本校ホームページで公開をしているようであるが、その効果は如何に。</p>	<p>・各種アンケートに関しては適切に実施しているが、ホームページ上への公開に関して、時間を要してしまうことがあった。今後はアンケート実施から公開までのスケジュールを学内で把握し、迅速に情報公開を行って行きたい。</p>

コ. 社会貢献・地域貢献

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>・自治体の企画する地域活動には積極的に参加しているが、地域と連携しての施設の活用、積極的な支援が不足しているようであるが対策について伺いたい。</p>	<p>地域との連携をさらに強化し、行事や会合等へ積極的に参加する。早い段階からの情報収集、また、学校の行事等を事前に地域へ告知することにも力を入れたい。</p>

(2) こども保育学科の学科内容再編について

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>近年、核家族化、共働き世帯、片親などの時代背景から保育所に対するニーズが急速に高まっている。現場即戦力となり得る人材育成のために、どのようなスキルを身につけさせるべきかを改めて検討する必要性が示された。</p>	<p>保育実習において実習先から受けた指摘事項を精査すると、挨拶、礼儀、素直さ、質問力、文章作成力、遊びのバリエーション、実践力、子どもと接する姿勢等が現場で求められていると考える。これらのニーズに対応すべく、現場経験の豊富な人材を講師に任用することにより、理論を実践に繋げられる学習内容を模索することとした。</p>

(3) 医療情報管理学科の授業の進め方について

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
<p>すべての授業において、キャリア教育を積極的に取り入れており、毎回の授業開始と終了時後の号令（起立、気をつけ、礼、着席）を徹底することや、毎回の授業終了前に、挨拶の重要性を、身だしなみ、話し方（敬語）、態度、表情など社会人としてのマナーの必要性を話すこと等を決めて、4月より取り組んだそうだが、この効果について。</p>	<p>職員は専任教員と情報交換する機会は多いが、非常勤講師とは、その機会が少ない。このため、授業の進め方も専任と非常勤では温度差があることが判明した。今後は、専任教員と非常勤講師の温度差を縮める必要があるとの意見で一致した。また、一般常識について、学生達の意識を高めるため、機会ある毎に学生一人ひとりに社会人として必要なマナー教育を行っていき、9月以降の実習に望みたい。</p>